

パブリック・コメント手続でいただいたご意見と対応（回答）

ご意見	対応（回答）
<p>この駅前中之郷地区・地区計画原案は、12区まちづくり検討委員会で平成22年度からあしかけ6年にわたり検討を重ね、関係地権者の80%近いご賛同をいただき、本年3月に地元の12区長、住民代表の連名で市に提出した地区計画原案をベースにしています。</p> <p>市でその後ご検討いただいた変更点についても妥当なものと思われるので、早急に都市計画決定していただくように切望します。</p> <p>また、この地区計画原案は地権者の皆さんの合意点の最大公約数をまとめたものですから、この地区計画の実現が駅前中之郷地区のまちづくりのゴールとなるものではありません。</p> <p>この地区計画の都市計画決定をスタートとして、多治見駅前の表玄関としてふさわしい駅前中之郷地区のまちづくり、すなわち、商工業機能と高層マンションなどによる土地の高度利用が、既存の低層住宅と共存できる豊かなまちづくりを進めるにはどうしたらよいか、新体制になった12区まちづくり委員会の若い皆さんが中心となって、さらに一步一步工夫を重ね着実にまちづくりを進めていただけるようお願いしております。</p> <p>市役所担当部署におきましては本地区のまちづくりに引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>多治見駅前中之郷地区地区計画（原案）は、多治見市の地区計画では地元からの提案にもとづいて策定する初めてのケースとなります。</p> <p>基本的には地元からの提案内容に基づき決定していく方針ですが、本年3月の提案書提出後、市による内容の確認、都市計画審議会への意見照会、関係法令との整合性の確認等を行う中で、隣接する駅南再開発事業との整合性に関する記述の追加、景観に関する項目の追加、垣柵の構造に関する項目の整理を行い、今回、市として都市計画決定を行うための原案といたしました。</p> <p>今後、関係法令に従い、平成29年3月末の都市計画決定を目指して手続きを進めてまいりますので、ご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。</p>